

取扱説明書

GX-SLM

スケールスライダ

お願い

このたびは、GX71/GX51用スケールスライダをご採用いただきありがとうございます。
しました。

本装置の性能を十分に発揮させるため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

顕微鏡使用時には、常にお手元に置いていただき、お読みになったあとも大切に保管してください。



A X 6 2 9 8

はじめに

本スケールスライダGX-SLMは、GX71/GX51共通です。
ただし、スライダに取付ける各種スケールガラスは、GX71用とGX51用とがありますので、ご注意ください。

1 ご使用にあたって

- 1) スケールガラスにピントが合う構造となっていますので、スケールガラスには、ゴミ・汚れ・指紋などをつけないようご注意ください。
また、取付け時には細心の注意を払いキズをつけないよう慎重に行ってください。
 - 2) 対物レンズ倍率との組み合わせが、異なると正しいサイズとなりません。
 - 3) GX71のズームダイヤルによる変倍でも正しいサイズとなります。
ただし、グリーンサイズGX71-SLMGSは、1×でご使用ください。
 - 4) スケールガラス類の清掃は、ガーゼで軽く拭く程度にし、指紋や油脂類の汚れのみエーテルとアルコール7：3の混合液またはEEシステム洗浄液(当社製品 型名EE-6310)などをガーゼにわずかに含ませて拭いてください。
- ▲** エーテル、アルコール、EE-6310などは引火性が強いので取扱いや火気、各種電気機器のメインスイッチのON-OFFなどには十分注意してください。
特に、エーテル、アルコールなど使用時には、部屋の換気にもご注意ください。

2 注 意

この装置を取扱説明書に記載されている以外の方法で使用されますと安全が保証できず、更に故障のおそれがあります。この取扱説明書に従ってご使用ください。

本文内の注意文書には、次のシンボルマークを使用しています。

▲：使用者の傷害防止および商品(周辺の家財など含む)破損防止の注意内容を示します。

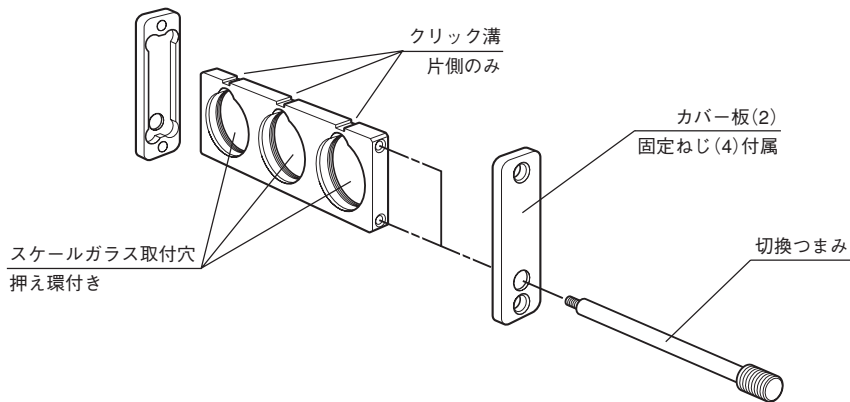
★：商品破損防止の注意内容を示します。

◎：参考(操作・保守において知っておくと便利な内容)

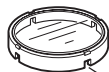
1 モジュール外観と仕様

スケールスライダ GX-SLM

◎ 切換つまみの取付位置は、GX51ではクリック溝のある方へ、GX71で逆の方へ取付けることを推奨しますが、使用目的により逆でも可。



スケールガラス
GX71-SLMG5~100
GX51-SLMG5~100

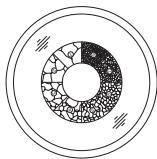


位置決め溝(4)

■スケールガラス仕様

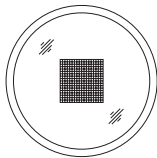
GX71用モジュール名	GX51用モジュール名	適用対物レンズ	実視野における基準長
GX71-SLMG5	GX51-SLMG5	5×	200 μm
GX71-SLMG10	GX51-SLMG10	10×	100 μm
GX71-SLMG20	GX51-SLMG20	20×	50 μm
GX71-SLMG40	GX51-SLMG40	40×	10 μm
GX71-SLMG50	GX51-SLMG50	50×	10 μm
GX71-SLMG100	GX51-SLMG100	100×	10 μm

グレんサイズガラス
GX71-SLMGS
GX51-SLMGS



- 仕様
適用対物レンズ：10×
(グレんサイズは、JIS G0551およびISO,
ASTM規格適合)

方眼スケールガラス
GX71-SLMGH
GX51-SLMGH



- 仕様
適用対物レンズ：任意

同焦ガラス
GX-SLMG



- 仕様
光路長補正の同焦ガラス

2 組立て方

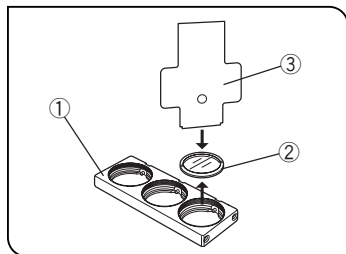


図 1

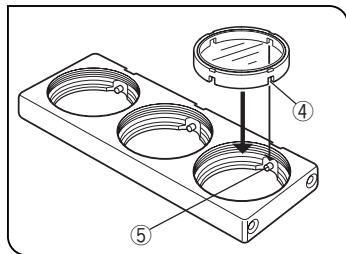


図 2

1 各種スケールガラスの取付け (図1,2)

- 1) スケールスライダGX-SLM①のスケールガラス押え環②のある方を上にして置きます。
- 2) 鏡体に付属の押え環ドライバ③を反時計方向に回して、押え環②を外します。
◎ スケールガラスのみ、GX-SLM挿入方向(クリック溝が、上か下か)でスケールガラスの上下が異なります。ここでは、次項のGX-SLM推奨取付方法で説明します。
- 3) 取付ける各種スケールガラスの位置決め溝④を下にしてスライダの位置決めピン⑤に合わせて挿入後、押え環②で確実に固定します。

スケールガラスのみ

GX71では、クリック溝が上になり、GX51ではクリック溝がない方が上になります。

上にスケールガラスのGX71またはGX51表示を持てきます。

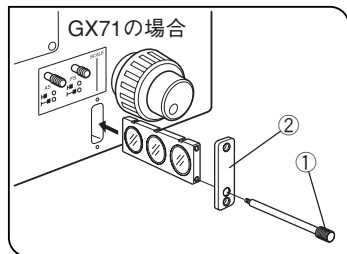


図 3

2 スケールスライダGX-SLMの取付け (図3,4)

★ スケールスライダ挿入時に、鏡体に内蔵の同焦補正のダミーสライダが押出されますので、ご注意ください。スケールスライダを取外したときには、元に戻す必要がありますので大切に保管してください。

- 1) スライダー切換つまみ①をカバー板②の穴に通して、指定のねじ穴にねじ込みます。
- 2) 鏡体のスケールスライダ挿入穴に、手前から見てスケールガラス押え環が見える状態で挿入します。
- 3) カバー板に付属のねじをお手持ちのプラスドライバーで鏡体に固定してください。(反対側も)

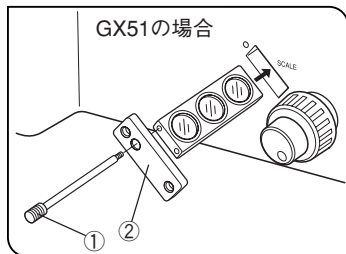


図 4

クリック効果の有無

- ・ GX71では、クリック効果無しの組立てになっています。PHOTOフレームでスケールガラス位置を確認、必要な所へスライドさせてください。
クリックを効かせるには、スケールガラス押え環を手前にしたまま、上下逆にします。クリック位置では、スケールは右端、グレンサイズ、方眼スケールは中央にセットされます。
- ・ GX51では、クリック効果有の組立てになっています。クリック位置でのスケール、グレンサイズ、方眼スケールはGX71と同様です。
クリックを効かせない場合は、GX71同様に上下逆にします。ただし、大きくスライドさせるとケラレ易いので、ファインダ接眼レンズのPHOTOフレームでスケール位置を確認してください。

3 使用法

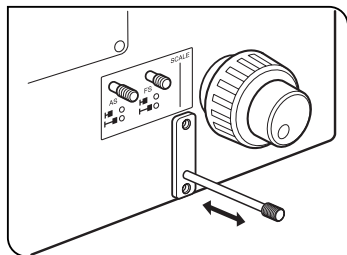


図 5

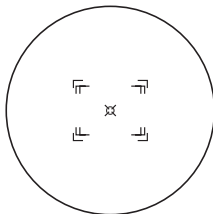


図 6

- 1) 使用する対物レンズを光路に入れます。
 ◎ グレーンサイズを使用する場合は、10×対物レンズを光路に入れます。
 - 2) 対物レンズの倍率とスケールの倍率を合わせて、スケールスライダを光路に入れます。
 ◎ 視野内に見える倍率表示は、使用できる対物レンズの倍率を表しています。
 ◎ GX51の場合は、クリック位置で止めてください。
 GX71の場合は、ズームダイヤルによる変倍が可能ですので、PHOTOフレームで撮影マスク内に入るように、スケールスライダをスライドさせてください。
- ★ GX71で、グレーンサイズ使用の場合は、ズームダイヤルを1×にし、中央に位置するようにしてください。

スケール類を一時的に使用しない場合

- 1) すべてにスケール類が取り付けられている場合は、スケールスライダをスライドさせて、視野の外へズラします。
- 2) 別売りの同焦ガラスGX-SLMGがスケールスライダに取付けてある場合は、これを光路に入れてください。

株式会社エビデント

 EVIDENT Customer Information Center
お客様相談センター

 **0120-58-0414** 受付時間 平日 9:00～17:00

※携帯・PHSからもご利用になれます。

生物・工業用顕微鏡 E-mail: ot-cic-microscope@evidentscientific.com

工業用内視鏡 E-mail: ot-cic-inspro@evidentscientific.com